

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：11/16～11/20

・11/16(月)

コロナと GoTo、コロナと五輪、コロナと経済、アメリカ大統領選挙、黒い雨の援護対象区域、コロナのワクチン、健康保険証の発行停止を検討、自民党の下村政調会長が解散時期語るなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、コロナと GoTo、コロナと五輪、コロナと経済については他の放送日を注視する必要があるものでした。なおコロナと経済については検証者の所感を記しました。

・11/17(火)

新型コロナの感染者、選択的夫婦別姓、日豪首脳会談、河井夫妻事件、伊藤詩織さんの裁判、香港警察による著作権侵害の疑いなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナの感染者、選択的夫婦別姓については他の放送日を注視する必要があるものでした。なお、選択的夫婦別姓、伊藤詩織さんの裁判、香港警察による著作権侵害の疑いについては検証者の所感を記しました。

・11/18(水)

新型コロナの感染者、アメリカの政権交代、日米のミサイル共同開発などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナの感染者については他の放送日と合わせて評価する必要があると考えられるものでした。

・11/19(木)

新型コロナ感染者、GoTo キャンペーン、広島三区補選、気候非常事態宣言、憲法審査会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナ感染者および GoTo キャンペーンについては他の放送日と合わせて評価する必要があると考えられるものでした。なお、広島三区補選および憲法審査会については検証者の所感を記しました。

・11/20(金)

コロナ禍と GoTo、習近平と TPP、縦割 110 番停止へなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、コロナ禍と GoTo については他の放送日と合わせて評価する必要があると考えられるものでした。なお、コロナ禍と GoTo については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年11月16日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕、高橋尚子		
検証テーマ：コロナとGoTo、コロナと五輪、コロナと経済、アメリカ大統領選挙、黒い雨の援護対象区域 コロナのワクチン、健康保険証の発行停止を検討、自民党の下村政調会長が解散時期語る		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナとGoTo ・コロナと五輪 ・コロナと経済 ・民間初の有人宇宙飛行船打ち上げ ・渋谷の路上で女性が中年男性に殴打され死亡 ・アメリカ大統領選挙 ・黒い雨の援護対象区域 ・コロナのワクチン ・健康保険証の発行停止を検討 ・世田谷区でゴミ収集車と2トントラックが衝突 ・スポーツ報道 ・自民党の下村政調会長が解散時期語る ・博報堂DYMP元社員を詐欺の疑いで逮捕 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナとGoTo：結論→他の放送日と合わせて評価が必要 小川キャスターの「さて、最初にお伝えするニュースですが新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受けて、政府が対応を迫られています。今夜、菅総理は飲食業界を支援するGoToイートについて人数制限を設けて、4人での会食までとする案に言及しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 <p>"千賀健永「自分ももしかしたらコロナウイルスなのかもしれない、というときに役立ててくれればいいなと思います。」</p> <p>ナレ「こう語るのはKis-My-Ft2の千賀健永さんです。今月8日に嗅覚に異常を感じPCR検査を受けて10日に陽性が確認されました。自身が経験している嗅覚障害について。」</p> <p>千賀健永「ここに香水がついている状態だとしても全く何も感じません、ロースカツとか肉の香りとか全くしないので歯ごたえだけです、もうゴムを噛んでる感じ。」</p> <p>ナレ「匂いがしないことでこんな危険も。」</p> <p>千賀健永「ガスの元栓を締め忘れていたりとか、なんか、そういったことに対して気付けない、気をつけて生活をしないと事故の原因になりかねないので。」"</p>		

"ナレ「今日も東京では月曜日としては過去 3 番めに多い 180 人の感染が確認されました。また、感染が急拡大している北海道では新たに 189 人の感染が判明、」

鈴木直道（北海道知事）「本当にギリギリの瀬戸際の状況だというふうに思っています。」

ナレ「北海道独自に設けた警戒ステージは現在 3，鈴木知事は札幌市のみ 4 相当だとして札幌市民の不要不急の外出と札幌と他の地域との往来の自粛を要請する方針です。」

鈴木直道「まあこれはかなり強い、あのお願いになるというふうには思うんですが、感染対策防止の力を強めないとこれは全道での感染もさらに拡大していく。」

札幌市民 A「この数日間のコロナの陽性者がかなりの数になってきているので、やっぱり自粛は当然じゃないかな、と。」

"ナレ「今日、夕方の対策本部で菅総理は。」

菅総理「5 人以上の単位で飲食を行う際には、GoTo イートの食事券やポイントの対象外とすることについて家族の食事の取り扱いを含め、各都道府県知事に検討を要請することと致しました。」

ナレ「GoTo イートをめぐり感染拡大が見られる地域では 5 人以上など一定人数以上の飲食は対象外とするよう各知事に対し検討を要請する考えを示しました。」

このトピックについて当てられた時間は 188 秒だった。

今回はゲストを招いてのスタジオでのやり取りなどは特に見られなかったが、このトピックについては他の放送日でもどのように扱われているかを継続的に注視していく必要があると考えられる。

・コロナと五輪：結論→他の放送日と合わせて評価が必要

コロナと五輪について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「国内での感染が再び拡大する中、昨日来日した IOC 国際オリンピック委員会のバッハ会長、目的は東京大会の実現に向けて今日、菅総理や小池都知事、組織委員会の森喜朗会長らと会談することです。ただ、オリンピック開催を巡って街では。」

"街の声 A「楽しみだけど、本当にやるのかなみたいな、コロナがやっぱり心配ですね。」

街の声 B「開催されるのであれば、ぜひ行きたい。」

"ナレ「こうした声の一方で、」

バッハ（IOC 会長）「私たちは今暗いトンネルの中にいると言われています。来年のオリンピックはそのトンネルの先に見える光となりうるのです。」

ナレ「政府と IOC は今、大会を開催する前提で動いています、この大会実現の際課題となるのが観客です。」

菅総理「東京大会では観客の参加を想定をした様々な検討を進めていることを説明をし、バッハ会長との間で、安全安心な大会の実現に向け、今後とも緊密に連携していくことで一致を致しました。」

ナレ「観客の参加を想定、とバッハ会長に伝えた菅総理、一方のバッハ会長も。」

バッハ「（日本と協力することで）来年の大会時にスタジアムに観客を入れることに関して、確信を持つことができました。」

ナレ「既に国内では布石が打たれています。プロ野球や J リーグなどは感染対策をとりながら徐々に観客の数を増やしていきました。今月には感染拡大後として国内では初となるオリンピック競技の国際大会を開催しまし

た。オリンピック東京大会に観客を入れることについて街の人は。」

"街の声 C「人数すごく減らしたり、気をつけながらだったらまだ、でもやっぱり海外の人が来るのはちょっと怖いですよ。」

街の声 D「無観客とかりモートとかだとやっぱりなんかそういう意味での地場の熱気がね、生まれないからやっぱり人は入れたほうがいいと思いますし、」 "

"ナレ「会見でも観客に関する質問が相次ぎました。」

バッハ「私たちはテストイベントを通してスポーツイベントに観客を入れることが可能だということを確認してきました。観客は大会時その時に妥当な数字を求めています。IOC は WHO の意見も取り入れながら今後決断していきます。」

ナレ「バッハ会長は観客の数については今後判断していきたい、としていました。"

"大会に観客を入れての開催について感染症に詳しい専門家は厳しい見方を示します。」

松本哲哉（国際医療福祉大学主任教授）「大規模なイベントというのはもう安全にちゃんとできたという例が証明された例はないわけですよ、やっぱりちゃんと安全かつみんなが安心して受けられると、参加できるということがやっぱり大事なことになると思いますので、色々こう検証しなければいけないことが多々あります。」 "

このトピックについて当てられた時間は 266 秒だった。

今回はゲストを招いてのスタジオでのやり取りなどは特に見られなかったが、このトピックについては他の放送日でもどのように扱われているかを継続的に注視していく必要があると考えられる。

- ・ コロナと経済：結論→他の放送日と合わせて評価が必要

村瀬キャスターの「続いても新型コロナウイルスについてのニュースです。こちら、ゲスト等を運営するすかいらーくホールディングスが 120 店舗、紳士服大手の青山商事が 160 店舗、いずれも今月閉店などで減ることになった店の数です、一方で、今日発表された 7 月から 9 月までの GDP、国内総生産は年率に換算して 21.4% と記録的な伸び率となりました。業績を回復する企業と苦しみ続ける企業、明暗が別れ始めています。」 とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"中島義博（ウチダオート取締役統括部長）「ちょうど今、こちらに並んでいて売約がはいているものが成約車になりますね。」

村瀬健介「この赤い札がついているのが。」

中島義博「そうですね、五台、今おいてあります。」

ナレ「埼玉県にある自動車販売店、小型の SUV や軽自動車を中心に販売が好調だと言います。」

中島義博「7 月以降ですね徐々にこう回復の兆しが強くなってきて、販売台数的には前年同月比でいうとまあ上回ってきている。」

ナレ「こちらの販売店では 7 月かつ 9 月の販売台数が去年に比べて 1 割ほど増えていると言います。」

中島義博「予想以上に回復したのかなとは思いますがね。」

ナレ「自動車業界は好調でトヨタ自動車はこの 9 月世界での販売台数が同時期としては最も多くなりました。今日発表された今年 7 月から 9 月までの GDP、国内総生産の速報値、物価の変動を覗いた実質で前の期よりも 5.0%

のプラスとなりました。このペースが1年間続くと換算した年率では21.4%のプラスとなり80年代以降で最も高い成長です。しかし、これはあくまで前の期の戦後最悪の落ち込みから反発したものであって43兆円のマイナスから23兆円の回復、つまり半分程度を取り戻したに過ぎません。」

西村康稔（経済再生相）「経済はコロナ前の水準を下回った状態である、と。国際機関の見通しで見てもですね、日本の成長率の戻りが遅いとされているところでもあります。」

"ナレ「専門家も景気回復の遅れを私的にします。」

井出真吾（ニッセイ基礎研究所上席研究員）「アメリカなんかはですね個人消費が1年前と比べて3%くらいのマイナスくらい水準まで急回復しているんですけども、日本の個人消費はまだ1年前と比べて8%近い水準のマイナスの状況なんですよ、ここが回復してこないと日本経済全体の底入れは本格化してこないんじゃないでしょうかね。」

"ナレ「長野から上京した店長が6年間続けてきたラーメン店、今月末で閉店することになりました。」

客A「そうなんですか、寂しいですね。」

ナレ「馴染みの客からは閉店を惜しむ声が聞こえてきます。」

常連客B「せっかく馴染んだ味じゃないですか、だから寂しいですよ。」

ナレ「締めめのラーメンを目当てに来る客も多く、深夜まで営業をしていましたが、コロナ以降売上が半分以上に激減してしまいました。」

依田和美（チラナイサクラ店長）「いっぱい来ていただいてありがとうございました、最後までがんばりますから。」

客「まだ来ますから。」

ナレ「地元の長野に戻って再起を図るということです。」

依田和美「本当に感謝の気持ちがないです、コロナがなかったら本当にまだまだずっとやっていけたのになっちゃって悔しい思いもありますよね。」

"ナレ「倉庫に所狭しと置かれているのは業務用の厨房機器、こちらの会社は厨房機器を買い取って販売をしています。」

鶴野裕教（テンポスバスターズ）「ここ半年に関してはもう圧倒的にお店を占められるということでのご依頼が非常に増えています、例年の2倍位買取のご依頼を頂いております、ここ数年ではなかった量ですね。」

ナレ「飲食業界が新型コロナで深刻な打撃を受けたことはデータからも浮き彫りになります、これはコロナ関連の業種別倒産件数、飲食券がダントツで多く、次にホテル、旅館、アパレル、小売店が続きます。また、倒産件数は業種を問わず6月以降、高水準でウイイしています、大手企業も苦戦が続きます。すかいらーくホールディングスは来年末までにガストやジョナサンなど合わせて120店舗を減らします。洋服の青山を展開する青山商事は160店舗を閉店すると発表、また正社員の1割に当たる400人程度の希望退職を募る方針です。実際にリストラに遭い、苦境に立たされた人がいます、昨日不動産会社を訪ねた40代の男性。」

"富永順三（任意売却119番）「仕事がリストラみたいになったのはいつぐらいなんですか。」

40代男性「店自体が5月までできなかったのも、その後もちょっと来ないでくれっというのが続いて、それからですね。」

ナレ「今年6月、7年間務めてきた飲食店を解雇されたといいます。男性は3年前、結婚を気に2500万円のロ

ーンを組んで、さいたま市内に中古一軒屋を購入、月 30 万円ほどの収入の内、ローンの返済に当てていましたが、収入が途絶え支払いが難しくなったのです。」

富永順三「来年多分春ぐらゐまで売却ということになっていくかな、それまではそのまま今の状態のまま住んでいただいて結構ですので、」

ナレ「男性はマイホームを売却せざるをえませんでした。」

記者「今、生活の状況としてはどういう感じですか。」

40 代男性「貯金を切り崩しているという状況です、無理して住宅ローンを払うとなると生活ができなくなると、結局それが一番嫌だとかだめだと思ったのでローンの方は諦めたという感じですよ、まあせっかく買ったというのはありますよね。」

ナレ「男性は次の就職先を探していますが、まだ見つかっていません。」

40 代男性「自分の探し方が悪いのかも知れないんですけどもちょっと年齢的な問題で 30 何歳とかまででまあまだアテがない状態ですね。」 "

"ナレ「住宅ローンの問題を専門医扱うこちらの不動産会社には売却の相談が 4 月以降急増、8 月以降少し減りましたが、先月になってまた増えています。」

富永順三「今年の冬のボーナスがもらえなくなりそうだ、とか大幅減額になりそうだというふうな形でご相談が増えています。もっとこういうことで苦しまれる方々が増えてくるんじゃないかなと思います。」 "

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「そしてコロナ禍によって雇用も悪化しているんです、こちら完全失業率を示したグラフなんです、8 月に続いて 9 月も 3.0% と高い水準、そして完全失業者数も 210 万人ということで 8 ヶ月連続で増加しているんですね、これだけでも深刻なんです、星さんここに現れない問題もある、と。」

星浩「そうですね隠れた失業というのがありまして、企業から休んでくださいというのがあって休業者ですね、それがざっと 200 万人にのぼってまして、この失業者と同じくらいいるわけですし、実際には雇用調整助成金でしのいでいるということなんです。雇用が良くならなくて、失業が増えてきますと消費が増えませんが、経済全体がこう収縮しちゃうということになりますよね、」

小川彩佳「更に特に影響を受けているのがこちら、非正規の働き手の皆さんなんです、前の年の同じ月の 123 万人減っていてそのうちの 6 割が女性と女性にしわ寄せがいつていますね。」

星浩「そうですね、これから年末にかけて企業もその資金繰りが困ってきますので、解雇とかね、賃金カットがどんどん増えてきますが、そういうときに弱い立場の人が非常に影響を受けるということですよ、菅総理も雇用問題が最重要課題だと行っていますので、重点的に取り組んでいくんですが、まずその政府が仕事を斡旋することが第一ですね、次いでもし仮にその解雇された人に対してはピンポイントで給付金を出していく、前回の 10 万円一律とかそういう形ではなくてですね、非常に困っている人を集中的に給付していくという政策が必要になっていくと思いますね。」 "

今回はゲストを招いてのスタジオでのやり取りはなく、星キャスターと小川キャスターとのやり取りであったが、このトピックについては他の放送日でもどのように扱われているかを継続的に注視していく必要があると考えられる。

・アメリカ大統領選挙：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカのトランプ大統領は 15 日、バイデン氏について『選挙が不正だったから彼が勝った』と Twitter に投稿しました。バイデン氏の勝利確実について言及したのは初めてで、世界のメディアが一斉に速報しました。しかしトランプ氏はこの一時間後、『彼はフェイクニュースの判断の中で勝っただけだ。私は何も認めてない、まだ先は長い、不正な選挙だった』ととうとう、敗北を認めず法廷闘争を続ける考えを改めて協調しました。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 37 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・黒い雨の援護対象区域：結論→特に問題なし

ナレーションによって「広島への原爆投下後に降った、いわゆる黒い雨に関連し、国の援護対象区域を再検証するための検討会の初会合が開かれました。黒い雨を巡っては今年 7 月広島地裁が国の援護対象区域の外にいた住民らも被爆者と認める判決を国に言い渡していて、当時の安倍総理が対象区域の拡大を視野に検証する考えを示していました。今後、最新の気象シミュレーションや地域の土壌調査などを行うということです。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・コロナのワクチン：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカのバイオテクノロジー企業モデルナは新型コロナウイルスのワクチンの最終治験について 94.5% の効果があるとする暫定的な結果を発表しました。重症化を防ぐ効果もあるほか、接種した人に深刻な健康への影響は見られなかったということです。モデルナは数週間以内にアメリカ食品医薬品局に緊急使用の認可を申請したいとしています。ワクチン開発をめぐり有力な結果が示されたのは 2 例目です。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 36 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

・健康保険証の発行停止を検討：結論→特に問題なし

VTR とともにナレーションによって「来年 3 月からマイナンバーカードが健康保険証として医療機関や薬局などで使われることになっていますが、政府は現在使われている保険証の発効を将来的に停止する方向で検討している事がわかりました。マイナンバーカードの交付率は先月の段階で 20.5% になっていて、政府としては発行停止によってカードの普及率向上につなげたい考えです。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・自民党の下村政調会長が解散時期語る：結論→特に問題なし

下村政調会長が解散時期を語ったことについて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"下村博文（自民党政調会長）「1 月冒頭がなければ限りなくオリンピック・パラリンピックが終わったあと、パラリンピックが終わるのは 9 月の上旬ですからまあそれ以降。」

ナレ「自民党の下村政調会長は都内で講演し、衆議院の解散総選挙について来年 1 月の通常国会冒頭か、東京パ

ラリンピックが閉幕する9月上旬以降となる見方を示しました。下村氏は更に講演で安倍前総理が『自分だったら1月に解散する』などと述べていたことを明かしました。"

このトピックについて当てられた時間は43秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・コロナと経済

今回はゲストに医療関係者を招いてということにはなかったが、そうした中でコロナ禍による経済の縮小、特に一部の業種や女性や弱い立場にしわ寄せがいつているということが取り上げられていた。

こういう時にしわ寄せが行くというのがまさに弱い立場である所以なのだから、「弱い立場にしわ寄せが行く」だとか「弱い立場が悪影響を受ける」というのはトートロジーに過ぎない話で、「進次郎構文」を笑えないような話であるが、社会経済活動を萎縮させればさせるほど、企業からすると余剰人員が増えてきて、そうなると企業側としても「退職してもらいましょうか」であるとか「休業していただきましょうか」というお話になるのは目に見えていることである。それではどういった労働者がその候補となるのかと考えると、企業側からすると希少性に乏しい人間、代替性がある人間になるのはこれもまた目に見えている話である。

他方、こういう状況下であっても、企業側としては重要性が高い人材というのは手放すことが出来ないのだから、そうした人については囲い込む方向に動くだろうし、なんとかつなぎとめる方向で動くだろう。

つまり、医療関係者が主張するような感染対策のための社会経済活動の制限というのはこのような経路で弱い立場の人間にしわ寄せを持っていく、という話に過ぎず、結局、コロナ対策というのは現時点においてはコロナの痛みあるいはコロナ対策に伴う経済縮小の痛みを誰に負わせるのか、という議論からは逃れられないのであり、やはり医療関係者がいる場でも、こうした経済面で苦しむ人が出るという話は話題に上げるべきであろう。

また、星キャスターは「これから年末にかけて企業もその資金繰りが困ってきますので、解雇とかね、賃金カットがどんどん増えてきますが、そういうときに弱い立場の人が非常に影響を受けるということですよ、菅総理も雇用問題が最重要課題だと言っていますので、重点的に取り組んでいくんですが、まずその政府が仕事を斡旋することが第一ですね、次いでもし仮にその解雇された人に対してはピンポイントで給付金を出していく、前回の10万円一律とかそういう形ではなくてですね、非常に困っている人を集中的に給付していくという政策が必要になっていくと思いますね。」とコメントしていたが、このコロナ禍で不要不急の外出を控えさせられ、また医療関係の専門家らが声高に感染対策のための社会経済活動の制限を主張するような中で、政府が「斡旋できる仕事」というのが一体どれほど存在するのかは甚だ疑問であるし、解雇された人にピンポイントで給付金などと振る舞うにしても、この累積赤字の積み上がった日本財政のどこにそんな財政的余裕が存在するのだろうか、これらについては是非、星キャスターの見解を深掘りして聞きたいところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年11月17日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕 讚井將満（自治医科大学附属さいたま医療センター医師）</p>		
<p>検証テーマ：新型コロナの感染者、選択的夫婦別姓、日豪首脳会談、河井夫妻事件、伊藤詩織さんの裁判、香港警察による著作権侵害の疑い</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染者 ・コロナの後遺症 ・選択的夫婦別姓 ・日豪首脳会談 ・河井夫妻事件 ・伊藤詩織さんの裁判 ・香港警察による著作権侵害の疑い ・カプコンから情報流出 ・新井浩文被告に懲役4年の実刑判決 ・スポーツ報道 ・大学生の就職内定率が過去二番目の下げ幅 ・タイで憲法改正をめぐり衝突激化 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染者：結論→今後も注視が必要 <p>小川キャスターの「新型コロナウイルスの今日の感染者数ですが、東京では298人、大阪は過去2番目に多いんですね269人、北海道では197人と多くなっています。札幌市では市民に不要級の外出の自粛を呼びかけるほど緊張感が高まっています。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"鈴木直道（北海道知事）「札幌市においてステージ4相当の対策を行うことと致します。」</p> <p>ナレ「北海道の新型コロナウイルス対策本部会議、連日100人を超える状況が続く札幌市に限り、独自の警戒ステージに基づく対策を3から4に強化する方針で一致をしました。」</p> <p>鈴木直道「札幌市内に滞在している皆さんは感染リスクを回避できない場合、不要不急の外出、そして札幌市街との不要不急の往來を控えていただきたいと思います。」</p> <p>ナレ「この対策は今月27日までの予定です。街に人は。」</p> <p>街の声A「いや、いいんじゃないですかあ、もっと早くにやったほうが良かったと思いますけど。」</p> <p>街の声B「僕もちょっとそういうあの観光業なんで直接影響も受けていますし、ただ個人的に子供いますから自粛した方がいいとか、控えたほうがいいとは思いますし、ちょっと半々ですね。」</p> <p>ナレ「北海道の今日の新規感染者数は197人、このうち札幌市は150人で9日連続の100人超えです、鈴木知事は医療提供体制の逼迫度合いが急速にましていると訴えますが、これは札幌市に限った話ではありません、旭</p>		

川市内の病院では新型コロナ専用のベッドを 24 床確保していますが、既に 19 床埋まっていると言います。」 "

"牧野憲一（旭川赤十字病院）「寝たきりの方ですから全てに介助が必要、これ以上にそういった患者さんを増やしていこうとすると今用意しているスタッフではもはや足りなくなります。」

ナレ「更に、大都市とは異なる地方の弱さがあると院長は指摘します。」

牧野憲一「地方都市というのはどこも限界点が非常に小さい、それを一つのクラスターですぐに超えてしまうということも起きうるわけです。」 "

ナレ「国の分科会は国の指標でステージ 3 となった場合 GoTo トラベル事業の大將から除外することを提言しています、北海道は国の指標に当てはめると 7 項目の内 4 項目はステージ 3 に相当、うち 2 項目はステージ 4 に該当するのですが。」

"赤羽一嘉（国交相）「北海道庁として北海道の全部または一部を GoTo トラベル事業から除外してほしい、とのご意見はございませんでしたので、現時点ではそういうことではございますが。」

ナレ「赤羽国土交通大臣は北海道を GoTo トラベルの対象から除外しない考えを示しました。 "

"一方の鈴木知事は、

鈴木直道「感染リスクを回避できない場合は控えていただきたい。」 "

"ナレ「今日、過去二番目となる 2 6 9 人の新規感染者が出た大阪では 7 項目うち 6 項目がステージ 3 に該当、沖縄県も 6 項目がステージ 3 に該当しています。そして今日、新規感染者が 2 9 8 人となった東京都、重症者の数は昨日より 2 人増え、4 2 人となり緊急事態宣言が解除されたあとで最も多くなりました。現在の東京都の状況を国の指標に当てはめると 7 項目中 6 項目がステージ 3 に該当しているのです。」

小池百合子（東京都知事）「都は都である、一番適切な方法でその数値や判断をいたしている、と。」

ナレ「一方、GoTo イートについては」 "

"野上浩太郎（農林水産相）「食事券・ポイントの利用は原則として 4 人医師の単位での利用とし、

ナレ「野上農林水産大臣は食事券やポイントの利用について原則 4 人以下の利用に限るよう各自自治体に呼びかけました。この要請に従うかどうかは自治体側の判断としていますが。」 "

吉村洋文（大阪府知事）「5 人以上は適用除外にするとことを大阪で実行する。」

黒岩祐治（神奈川県知事）「人数制限というのは今のところ特に考えていません。」

ナレ「感染が拡大する中、各自自治体の判断は分かれています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「ここからは自治医科大学附属さいたま医療センター 讚井将満先生にお話を伺ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。」

讚井将満（自治医科大学附属さいたま医療センター、医師）「よろしくお願い致します。」

小川彩佳「ここ一週間で 1500 人を越えたのが 5 日目ということで感染拡大が続いていますけれども、こうした中でも GoTo トラベルは続いている、この現状はどのように受け止めていらっしゃいますか。」

讚井将満「あの、最悪の事態はやはり緊急事態宣言を発令しなければいけないような状況になることだと思うんですね、でやはり第二波より少し総数としては増えた、新規感染者数が増えたという状態、それからまだ病床に特に重症者に余裕があるということは言えると思うんですが、やはりスピードが違うのと、それからやはり季節が違いますよね、冬です、そしてこれから更に乾燥する季節が始まりますから、そういうことを考えると今、打

つべき手を打つ、そういう段階に来ていると私は思いますね。」

小川彩佳「打つべき手を打つとは例えばどういったことを。」 "

"讚井將満「まああの感染対策のレベルを一段上げる、そういうふう国として指示をして頂けるということ、それからどうしても職場、仲間内みなさん優しいから人が感染対策をできていないときにどうしても言えないということがあると思うんですけども、皆さん自身で皆さんを守るという、そういう意識が必要だと思いますね。」

小川彩佳「そうした手を打っていかないと、今、スピードが違くと仰っていましたがけれども、このままいくと緊急事態宣言が出されてもおかしくないような状況なんではないでしょうか、今は、

讚井將満「はい、個人的にはそう思いますね。」 "

"小川彩佳「うーん、そうした中で星さんその GoTo トラベルの政府の中での温度感というのは変わってきているんじゃないでしょうか。」

星浩「そうですね、実際にはですね、その政府の中で意見が別れて立ち往生しているというのが現状ですね、厚生労働省は専門家会議を含めてやはりここは見直したほうがいいという意見に傾いていますし、国交省はその見直してもいいんだけど、観光振興策に代わりがあるのか、となるとなかなかそのアイディアがないので、ここは困っているということなんです、最終的には菅総理の判断になるんですが GoTo キャンペーン、菅総理自身がずっと旗を振ってきたもんですから、なかなかその見直しに踏み切れないというのが立ち往生の一番大きな原因かなと思いますね。」

小川彩佳「とは言えね、感染拡大は待って欲しくないわけで、そうした中で医療側ではどういったことが今なされるべきなんじゃないかな。」 "

"讚井將満「あの、最悪の事態は ICU のベッドが足りなくなったりとか、あるいは本来であればお亡くなりにならなくていい方がですね、ベッドが不足することによって亡くなりになると、そういう風に思うんですね、それを避けるためにはやはりもう一段ベッド数を都道府県で増やしていただくということ、後はやはり医療機関の間の協力ですね、特に重症な患者さんのための人工呼吸器、それからエクモの管理、この質を維持するために沿革で診療の支援などを行うべきだと思います。」

小川彩佳「医療機関間というのは例えば都道府県間というのも同じようなことが言えますか。」

讚井將満「そうですね、まずは都道府県内で行っていただいて、その様子を見ながらまさに必要であれば国の中で自由なそういう情報の行き来なんかもやるべきかだと思いますね。」 "

"小川彩佳「うーん、そうした情報の行き来には星さんどういった事が必要だと思いますか。」

星浩「実はですね、隣の県だからといって必ずしも支援できる余裕があるとは限らないですね、ですからそこはやっぱり国が全体の状況を把握してね、例えば遠い件でも国の指示でこの県の方が助けに行ってください、というようなことを国が差配する、そういった体制を作ることが急務だと思いますね。」

小川彩佳「そうですね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 566 秒だった。

今回のゲストは医療関係者であったが、このトピックについてどういう専門をゲストとして招くかは、それがそのままスタジオの論調に反映されるので、番組全体として放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」の観点を満たしているのか、ということは今後も注視が必要と考える。

・選択的夫婦別姓：結論→今後の注視が必要

村瀬キャスターの「こちら、結婚した夫婦が別々の名字を選べる選択的夫婦別姓、先月賛成反対を問う 7000 人規模の調査が行われ 7 割以上の方が賛成していることが明らかになりました。この調査からは性別や世代、都道府県によっても賛否の比率が異なることが浮き彫りになりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「今年 3 月、神奈川県議会。」

梅沢裕之（神奈川県議会議員、当時）「選択的夫婦別姓制度について議論を求める意見書案にご賛成の方はご起立をお願いします。起立多数により、原案の通り決しました。」 "

"ナレ「この時傍聴席で笑顔を見せる女性たちがいました。彼女たちが求めているのは結婚した夫婦が別々の名字を選ぶことができる制度、選択的夫婦別姓です。」

北佐和子さん「私自身は外資系に努めているので、転職をすることだったりそういったことがあるんですけども、途中で名前が変わるといのは色々な意味でですね、これまでのやってきたこと、キャリアとかが分断されてしまうことになるんですね。」

ナレ「キャリアが分断されるということは医師や研究者など他の業種からも上がっています。法務省によると夫婦が同じ名字であることが法律で義務付けられているのは世界で日本だけ、名字を変える人の 96% が女性だと言います。公的書類や金融機関等の改正手続きなども求められます。」

田中亜季さん「私も変えたくないと言いましたし、夫も変えたくないと言いましたけれどやっぱりこういう長年歴史の中で女性がずっと変えてきて、周りに、そういう声に押されて私も変えざるを得なかったです。」 "

"ナレ「選択的夫婦別姓の実現を求めて活動する井田奈穂さん。」

井田奈穂（選択的夫婦別姓・全国陳情アクション事務局長）「当事者の声をやはり届けなければいけない、ということ。」

ナレ「先月全国の男女 7000 人を対象に選択的夫婦別姓についての意識調査を行いました。それによると選択的夫婦別姓について制度の導入への賛成が 70% を超えました。地域別では沖縄県が反対と比べた賛成の比率が最も多く反対の 10 倍以上、一番少なかった愛媛県でも 2 倍以上が選択的夫婦別姓に賛成でした。」

井田奈穂「20 代、30 代がやはり賛成率が多かったです。今回は 50 代の男性、そして既婚者の方の反対率が高かったんですね。」

ナレ「さらに今回の調査である問題点が浮かび上がってきたと言います。」 "

(CM)

"ナレ「7000 人を対象にした選択的夫婦別姓についての全国の調査である事実が浮かびがりました。」

井田奈穂「同姓しか選べないことによって結婚を諦めた方が数は少ないですけども一定数いるということはこの調査であぶり出せたというふうに思っています。」

ナレ「今回の調査で 7000 人の内、94 人が名字を選べないことを理由に結婚を諦めた経験があると回答したのです。そのため出産を諦めた人もいるといます。」

井田奈穂「本当は家族なのに法的に家族でない形で事実婚のまま不安を抱えている方々が大勢いるので本当に国の行方を考えるのであれば、後は少子化を改善したいのであれば、そのあたりをきちんと考えて法整備をする

べきだと考えています。」 "

ナレ「一方で、反対意見も自民党支持層などに根強くあります。『家族の絆が壊れる』などの理由で法律の改正に向けた国会での議論が進んでいないのが現状です。」

"ナレ「国会に声を届けるために井田さんが取り組んでいるのは全国各地の県議会や市議会などに働きかける草の根運動です。その報告会では。」

上田めぐみさん（北海道の活動報告）「今年の3月に幕別町議会でも意見書が可決されました。」

小泉祐里さん（茨城県の活動報告）「色々な所で思いを話していく中で、非常にだんだん良く理解してくださるようになって。」

ナレ「これまで選択的夫婦別姓についてを求める意見書などが全国の自治体で157件可決されたということですから」

"一方の政府は先週、橋本担当大臣が選択的夫婦別姓の議論に前向きな姿勢を示しました。」

橋本聖子（男女共同参画相）「婚姻前の氏を引き続き使えないことが、婚姻後の生活の支障になっていると、誰ひとり取り残すことのない、という視点で議論を着実に進めていきたいと。」 "

"ナレ「井田さんは今後の国会での議論の高まりに期待を寄せています。」

井田奈穂「決してこれは女性だけの問題というふうに切り離して考えずに、これからの未来を担う家族になりたい人たちのその選択を阻んでいるのが今の法律だということをぜひご認識していただけたらな、と。法改正を早期に成し遂げていただきたいというふうに思っています。」 "

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「ここでVTRにもありました、選択的夫婦別姓についてのアンケート結果、詳しく見ていきます。」

村瀬健介「はい、全国7000人を対象とした調査ですけれども男女別に見ますとまず女性の方、どの世代もまんべんなく80%前後の賛成があることがわかります。一方の男性の方はですね、全体で見ますと61%の人が賛成していますけれども、世代別で見ますと若い世代20代、30代で賛成の割合が高くて、40代、50代になりますと若干賛成の割合が下がっているのがわかります。」

山本恵里伽「そうですね、男性は世代によって差が随分ありますね。」

村瀬健介「そうですね、一方でですねこちら、賛成の人が反対の人の何倍いるかというのを都道府県別にランキングにしたものなんですけれどもトップは沖縄県で10.3倍、東京都はと言いますと10位の6.2倍となりました。」

山本恵里伽「一方でこのアンケートには賛成反対の意見が寄せられています。賛成の声として、その賛成の声としましては『離婚したときに名字が変わることがその知らせのようになり嫌だった』であるとか『姓が変わるのはアイデンティティを失う』こういった声があったんです。小川さん、実際ご結婚された時感じるどころありましたか。」

小川彩佳「私が実感したのは名義変更の手續の煩雑さ、パスポートだったり、免許証、銀行口座、クレジットカード、ありとあらゆる名義を変更しなければならないので、そうした書類を一生懸命書いたり役所に足を運んだりしている横で、夫がなんのペースも崩されずに生活をしているのを見ると、同じように仕事に向き合っているのにな、とちょっと少なからずもやもやしてしまいましたね。」

山本恵里伽「ちょっと差を感じてしまいますよね。一方で、反対の声です。『夫婦が同じせいだから一体感がある』、『子供がどちらの姓を名乗るのか問題が生じる』こういった声もありました。」 "

"小川彩佳「色んなご意見がありますけれど、星さんはこの選択的夫婦別姓、どのように。」

星浩「長年議論されていましてね、私もずっと取材をされてきているんですけども、まずその女性がですね、その姓を変える段階で非常に煩雑な負担を強いられることが多いんですよね、それから離婚のときに色んな問題を生じるというようなこともあって、この問題、その色んな所で、実害が生じてきたということだと思いますね。」

小川彩佳「実際に実害ですよ。」

星浩「まあ民法改正というのは必要なんですが、そういう意味では早急に政治が向き合うべきテーマだと思いますね、その菅総理大臣は実はですね、本音ベースではこの選択的夫婦別姓については理解があるんですね。」

小川彩佳「おっ、じゃあこの問題進むかも知れないですね。」

星浩「そうなんです、ところがですね、自党内には保守派がいますのでね、そちらに気を使ってなかなか踏み込めないでいるというのが実態だと思います。まあそうやって今、菅さんが掲げているの、規制改革とか前例打破でしょ、そういう意味ではこの夫婦別姓問題というのも一種の改革と捉えれば規制改革でもありますし、前例打破ですから、リーダーシップを取ってやってもらいたい、これ殆どお金がかからないのでできる改革ですからね、ぜひ、取り組んでもらいたいと思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は 571 秒だった。

NEWS23 ではコロナに対するワクチンの副反応を巡っては 44000 人規模の治験ではサンプルサイズが全く足りないという論調だった。他方で、今回の調査は日本人に限定されているとは言えども 7000 人規模の調査であるが、「傾向が浮き彫りになった」などとサンプルサイズが十分であるかのように取り扱っていた。

日本人は 1 億人以上もいるのに、なぜ 7000 人規模の調査で傾向が浮き彫りになったと言い切れるのだろうか。結局自分たちの望む結論ありきで、そうした傾向が見えた場合はサンプルサイズは十分だと扱い、そうでない場合はサンプルサイズが不十分だと、恣意的に判断しているように見えてしまった。

また、アンケート結果について村瀬キャスターが「はい、全国 7000 人を対象とした調査ですけども男女別に見ますとまず女性の方、どの世代もまんべんなく 80%前後の賛成があることがわかります。一方の男性の方はですね、全体で見ますと 61%の人が賛成していますけれども、世代別で見ますと若い世代 20 代、30 代で賛成の割合が高く、40 代、50 代になりますと若干賛成の割合が下がっているのがわかります。」と語っていたが、実際に示されていた結果だと、女性も 20 代や 30 代に対して 40 代、50 代になると若干賛成の割合が下がっており、若い人ほど賛成が多く年配ほど反対が多いという傾向は男女共通に見られていた。しかし、スタジオでの取り上げ方は上述のように、さも女性の賛否の分布は年代とは無関係であるような扱われ方をしており、対比のさせ方に恣意性を感じるものであった。

いずれにせよ、この問題についての議論が進んでいくと賛成派のみならず反対派の議論も活発になるだろうから、そうした点で放送法に合致するような取り上げがされているかは今後も注視が必要と考える。

・日豪首脳会談：結論→特に問題なし

山本キャスターの「続いてはこちら、菅総理と肘タッチしているのは今日、来日したオーストラリアのモリソン首相です。コロナ禍で初めて来日した外国の首脳で帰国後は 2 週間自主隔離するそうですが、それでも菅総理に会いに来たというのです。背景に見え隠れするのはこの国の存在です。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"菅総理「モリソン首相、来日を心より歓迎します。」

スコット・モリソン（オーストラリア首相）「あなたを『ヨシ』と呼びます。私のことは『スコモ』と呼んでください。」 "

"ナレ「夕方の首脳会談では友好ムードが演出されました。両国はコロナ対策や経済分野での連携強化を確認、さらに安全保障面では共同で軍事訓練を行う際に武器などの持ち込みの手続きを簡素化する協定に大枠で合意しました。実は日本とオーストラリアは急接近しています、菅総理が就任して最初に電話会談した首相はモリソン首相。そして初めて日本に招いた外国の首脳もモリソン首相でした。急接近の背景にあるのは中国です。両国はアジア・太平洋諸国で影響力を強める中国を互いに警戒しているのです、その対中政策で最も鍵となるのがアメリカ、大統領選で勝利を確実にしたバイデン氏は 16 日。」

バイデン「アメリカは世界経済の 25%を占めている。中国などに成果を独占させないように、ルールを作るには他の民主主義国家と連携する必要がある。」 "

ナレ「バイデン氏は通商政策において同盟国と連携して中国に対抗していく考えを示しました。」

このトピックについて当てられた時間は 149 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・河井夫妻事件：結論→特に問題なし

山本キャスターの「参院議員の河井案里被告の二回目の被告人質問が行われ、案里被告が涙ながらに証言する場面がありました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「河井案里被告は夫で元法務大臣の克行被告とともに去年の参院選で地元議員に現金を渡して買収した罪に問われています。今日の被告人質問に案里被告は逮捕前、買収疑惑が報じられた際に克行被告が地元議員に渡したとされる現金についてこう、問い質したとされます。」

案里被告「不安になって主人に聞いたら『あんたは知らないほうがいい』と言われた、主人の口ぶりからは間違ったお金じゃないかと思った。」

ナレ「このあと、案里被告は涙ながらに『私の選挙だから私に知る義務がある、責任があると言ったが、教えてもらえなかった』と証言しました。一方、自らが陣中見舞いとして地元議員に渡した現金の元手についてはタンス預金から使ったと答えました。」 "

このトピックについて当てられた時間は 64 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・伊藤詩織さんの裁判：結論→特に問題なし

VTR が取り上げられるとともにナレーションによって「元 TBS 記者の山口敬之氏から性暴力を受けたと訴えるジャーナリストの伊藤詩織さんがツイッターで誹謗中傷するイラストなどを拡散されたとして、漫画家に阻害賠償などを求めた裁判、今日はじめて開かれた口頭弁論で、伊藤さんは『私の魂を深く傷つけた』などと述べました。漫画家側は争う姿勢を示しています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港警察による著作権侵害の疑い：結論→特に問題なし

VTR が取り上げられるとともにナレーションによって「香港警察が Facebook 上に投稿したこちらの画像、日

本の人気漫画、鬼滅の刃の主人公に似ているとして香港市民から著作権侵害だと批判が出ています。民主活動家の周庭さんも『鬼滅の刃が香港警察の宣伝道具になるのは悲しい』とツイートしています。一方、香港警察は『これは警察の詐欺防止キャラクター”ぶどう”だ』として著作権の侵害を否定しています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 選択的夫婦別姓

「子供がどちらの姓を名乗るのか」という問題、そしてここから派生する「子供自身の意思で姓を変更することはできるのか」という問題について選択的夫婦別姓賛成派はどのように考えているのだろうか、この議論についてはその点だけが気になるところである。

・ 伊藤詩織さんの裁判

伊藤詩織さんを実名で報道し、なぜ漫画家については敢えて個人名を伏せて報道するのであろうか、気になった。

・ 香港警察による著作権侵害の疑い

取り上げられていた香港警察のキャラクターを見ると、どうしても質の悪いパチモンにしか見えなかった。こうしたことについて日本がどう向き合うのか、あるいは著作権や知的財産権を巡っての国際枠組がどうなるのか、という点については興味深い。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年11月18日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕 和田耕治（国際医療福祉大学教授、公衆衛生学）		
検証テーマ：新型コロナの感染者、アメリカの政権交代、日米のミサイル共同開発		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染者 ・飲食店のコロナ対応 ・虐待子供の逃げ場 ・アメリカの政権交代 ・日米のミサイル共同開発 ・スポーツ報道 ・日本酒輸出が中国への輸出が急増 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染者：結論→他の放送日との合わせての判断が必要 <p>小川キャスターの「新型コロナウィルスの感染拡大が止まりません。今日の新たな感染者ですが2201人ということで、1日の感染者としては過去最多を更新しました。都道府県別に見ていきますと、この赤で示されたところが過去最多を更新したんですが、埼玉126人、神奈川226人、そして東京は493人ということで500人に迫る勢いです、さて、その東京、現在の渋谷の様子見てみましょう、あこちら新宿駅ですね、新宿駅前はかなり閑散としているように見受けられました。こちらは渋谷のスクランブル交差点、現在の状況です、今丁度赤信号ということもあって、人の波というのはちょっとわからないような状況なんですけど、ポツポツと人出があるというような状況ですね、まあ特に少ないなというような印象は受けないという気が致します、そして先程ちらりと移りましたが、JR新宿駅前の様子です、こちらでも人影はかなりまばらというような印象を受けますね、車の交通量も少し少ないかなというふうに感じます。さて、この週末に関してなんですけれども、三連休が待ち受けています。日本医師会は我慢の三連休にしてほしいと外出自粛を呼びかけています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p style="color: red;">"記者「過去最多の感染者が確認されたことについて受け止めは。」</p> <p style="color: red;">小池百合子（東京都知事）「実は過去最多がもうひとつあります、検査数です。8600ぐらいは行っております。まあ要請者数、これから増えると思いますが、基本は重症者数を以下にして抑えるか、これは前からお伝えしているとおりで。」</p> <p style="color: red;">ナレ「493人、今日発表された東京都の新規感染者数です。第二波と言われていた最中の8月1日に発表された4702人を上回り、過去最多を更新、感染者数の推移のグラフは大きな3つ目の山を築こうとしています。都の幹部の一人は。」</p> <p style="color: red;">都の幹部「まさかこんなに早く過去最多を更新するとは思わなかった。」</p> <p style="color: red;">ナレ「年代別では20代が最も多い123人、次いで30代が92人、40代が89人となっています。8月に過去最</p>		

多となった際は 20 代 30 代が 7 割ほどでしたが、今日は 40 代、50 代、65 歳以上が過去最多となり中高年への感染が拡大しています。現在の東京都の状況を国の指標に当てはめると 6 項目中、5 項目がステージ 3 に該当しています、東京都の新規感染者が過去最多となったことを受けて加藤官房長官は。」 "

加藤勝信（官房長官）「新規陽性者数の増加傾向が顕著になってきており、最大限の警戒感を持って感染状況に応じた対策を考える必要がある。」

ナレ「更に GoTo トラベルについては現時点で東京都において国の分科会のステージ 3 相当と判断されたとは承知していない。除外してほしいというよう棒もない、と述べ、現状では GoTo トラベルの対象から東京都を除外する考えはないとの認識を示しました。」

"山口芳裕（教授、杏林大学病院高度救命救急センター長）「乾燥の季節を迎えて、感染拡大というのは当然危惧されていたことです。」

ナレ「東京都の専門家会議のひとり、杏林大学病院高度救命救急センター長の山口芳裕教授、東京都の感染状況や医療提供体制についてうちよい危機感を持っています。」

山口芳裕「東京は例えば公的には 2640 床ありますと発表されています。そして現在の入院療養者数 1200 人余り、そうすると半分にも満たないというふうにお感じになるかもしれませんが、実際に入れられますよ、と手を上げてくれた病床数はたかだか 300 くらいしかない、そこには医者も必要ですし、看護師も必要ですね、で、この看護師は今まさに通常の医療を一生懸命回していますので、そこから引き離してコロナのベッドにですね、持ってこなければいけない、ということで、ベッドがあるからと行って、それがすぐに使えるということではありません。」

村瀬健介「今、その国や自治体レベルでですね、この状況に対応するためにどういう対応が求められている、と。」

山口芳裕「病床がですね、まだ逼迫した状態じゃないというコメントが国からも出ますし、GoTo キャンペーンについても更に延長して実施しようというコメントが出ています。こうしたコメントは当然のことながら都民国民の警戒感を緩める方向に作用するというのもぜひ知っていただきたいと思います、この感染拡大の責任を一方向的に都民や国民の側に押し付けるというのは少し無責任なような気が致します。」 "

ナレ「こうした中、東京都が独自に定めている新型コロナウイルスの感染状況の警戒レベルを四段階で最も深刻な段階の感染が拡大しているに引き上げる方向で最終調整する方向に入ったことが関係者の取材でわかりました。東京アラートの発動のあと 7 月から感染段階を四段階で示すようになりました。9 月 10 日から上から二番目の橙色が維持されてきましたが、明日以降赤に変更される見られます。」

"中川俊男（日本医師会会長）「コロナに慣れないでください。コロナを甘く見ないでください。国民の皆様にはぜひ、秋の我慢の三連休としていただきたい。」

ナレ「日本医師会は今週末に控えた三連休における外出の自粛を呼びかけました。さらに、GoTo トラベルキャンペーンについて。」

中川俊男「GoTo トラベル自体から感染者が急増したというエビデンスがなかなかはっきりしませんが、きっかけになったことは間違いないと私は思っています。」 なあ

ナレ「今後の感染状況の推移によっては緊急事態宣言やロックダウンなどの強い措置が必要だ、としました。今日、埼玉県の新規感染者数は 126 人、神奈川県でアハ 226 人など、各地で過去最多を更新、1 日の数字としては全国で初めて 2000 人をこえ、2200 人台に達しました。総理官邸では菅総理が田村厚生労働大臣、西村経済再生

担当大臣と対策について意見を交わしました。」 "

"西村康稔（経済再生相）「菅総理からはですね、まあなんとしてもこの爆発的な感染拡大にならないよう、今の足元の感染をしっかりと感染拡大を抑えるべく、全力で取り組むように、とのご指示がありました。」

ナレ「菅総理は増加の一途をたどる感染者数に大変危惧していると述べ、感染防止策の徹底を指示したと言います。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「ここからは国際医療福祉大学教授の和田耕治さんにお話を伺います。よろしくおねがいします。」

和田耕治（国際医療福祉大学教授、公衆衛生学）「よろしくおねがいします。」

小川彩佳「今日は全国で新たな感染者が 2200 人を超えていて、そして中でも東京都では第二波のときの 8 月 1 日の 472 人を上回って過去最多、と。この状況をどうご覧になりますか。」

和田耕治「はい、季節もだいぶ寒くなってきましたので、多くの方が室内で過ごすようになってきました。まあその中で今の感染対策では不十分である、ということ突きつけられた数字だというふうに思っています。」

小川彩佳「うーん、これまでの感染対策というのは十分だったのでしょうか。」

和田耕治「あ、この数字というのはだいたい 10 日前の感染が見えているものですから、この 10 日間の間に皆さんの間で目に見えた対策がなされてなければ、これ以上に患者さんがこれから増えてくる可能性は十分あると言います。」

小川彩佳「この間、続いてきたことといえばやはり GoTo キャンペーンですけれども、これが増加原因の一つという捉え方はいかがですか。」

和田耕治「GoTo はそれによって経済的な面では救われた方がいたのは間違いないかもしれませんが、やはり感染を増やしていく要因の一つとしてはなつたと思います、もちろん程度はどの程度かは分かりませんが、それ以外のところにも波及した影響はあったかもしれないと考えています。」 "

"小川彩佳「うーん、やはり GoTo の影響がこういうところにもあったのかどうかということですが、大都市が目立ちがちですが、今月に入ってこちら全国 15 の都道府県で過去最多となっているんですね、で、岩手だったり静岡といったこれまであまり感染者がでてきていないところでも感染者が増えてきている、ここが非常に気がかりなんです。」

和田耕治「そうですね、今回の第三波と今言われていますけれども、かなり地域の深いところに入っている、ということで、それぞれ自治体ごとによって感染が起きている場所が異なっている、それ故に対策もそれぞれ違っているというのが今回の特徴です、」

小川彩佳「その分、対策というのが難しくなってくるという状況にありますか。」

和田耕治「そうですね、特にもう長期化してきていますので、かなり経済的な面でも難しいということでもかなり意思決定は複雑になってきているという印象です。」

小川彩佳「第一波、第二波の対策というのをそのまま当てはめればいいというものではなくなっている。」 "

"和田耕治「そうですね、第二波は比較的繁華街に見えていましたので、繁華街を閉めればよかったと言えますが、かなり今回は複雑で我々もどう対策していけばいいかということについては非常に困っているような状況です。」

小川彩佳「政府としては星さん、昨日の段階では意見が分かれているところがありましたけれども、今日は

「どうでしょうか、危機感というのは。」 "

星浩「どうもその与野党からはですね、官邸が危機感は足りないんじゃないか、という声が出始めていますね、やっぱりその 2000 人を超えて過去最多になっていますから、国民に不安も広がっていますし、やはり総理のメッセージが必要だと思いますね、とりわけその GoTo キャンペーンをどういうふうこれからやっていくのか、それから仮にね、時短営業になった場合、その支援を政府がどういうふうこれからやっていくのか、そういうポイントについてはね、総理直接国民にメッセージを発する時期になっていますね。」

このトピックについて当てられた時間は 680 秒だった。

今回はスタジオのゲストは医療関係者だった。コロナおよびそれへの対応が主要なトピックとなる時は医療関係者がゲストとなる事が多いように見受けられるが、医療関係者ばかりに偏った出演というのでは結果として報道の切り口が医療一辺倒となってしまう、現実の生活だとか経済といった点がおろそかとなる懸念があり、そういった意味では放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点から問題となる可能性もあり、このテーマについては今後も注視が必要と考える。

・アメリカの政権交代：結論→特に問題なし

山本キャスターの「アメリカ大統領選で勝利を確実にしたバイデン氏ですが、敗北を認めないトランプ大統領から引き継ぎが進まず、安全保障への影響が出るのでは、と懸念が強まっています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「17 日、バイデン氏が向かったのはある映画館、スクリーンに映し出された人たちにこう嘆いてみせました。」

バイデン「受けられるはずのブリーフィングを今も受けられない、アメリカ国民を守ることに重要な大統領の責任はない。」

ナレ「実はこの日、バイデン氏は外部の有識者から安全保障に関する説明を受けたのです。背景にあるのはこの人のこの態度。」 "

"トランプ大統領 (Twitter) 「私が選挙に勝った。」

ナレ「トランプ大統領が敗北を認めていないため、当局から安全保障を含む機密情報の提供を受けられずにいるのです。」 "

"バイデン「くたびれると言うより、アメリカにとって恥ずべきことだ。」

ナレ「政権移行が進まない状況にバイデン氏は危機感をつのらせています、16 日にはコロナ対策が遅れることで多くの犠牲者が出ると指摘。」

バイデン「早くトランプ政権のワクチン配布計画にアクセスできれば政権移行はスムーズに進むだろう、連携しなければより多くの国民が死ぬことになる。」

ナレ「改めて政権の早期移行を求めました。一方、トランプ大統領はアフガニスタンとイラクに駐留するアメリカ軍の規模を大幅に削減すると発表、任期終了直前に軍の配置を終了するという異例の対応にでました。政権移行を巡るドタバタが安全保障に影を落とし始めています。」 "

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返され広がった。

"小川彩佳「そして政権移行が進まないことは日本にも影響してくるんですね。」

星浩「そうなんです、実はですね、アメリカの駐日大使が不在のままなんです、去年7月ハガティさんという前任の大使が離任した後に今年9月になってワインシュタインさんという後任の人が上院の委員会では承認されたんですが、与野党の対立で本会議で承認されないまま、ずっと宙に浮いているんですね、で、そのトランプさんが指名したんですけれども来年の1月に和解が進まない、この与野党の和解が進まない、来年の1月に今度バイデンさんが新しい大使を指名して、この人が宙に浮いちゃって、新しい大使の指名承認にまた時間がかかりますから、どうも2年以上駐日大使が不在という事になりそうなんです。」

このトピックについて当てられた時間は181秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日米のミサイル共同開発：結論→特に問題なし

VTRが取り上げられるとともにナレーションによって「日米共同開発ミサイル、初の迎撃成功です。アメリカ国防総省のミサイル防衛軍は日本とアメリカが共同開発している迎撃ミサイルSM3ブロック2AによるICBM大陸間弾道ミサイルの迎撃実験に初めて成功したと発表しました。発表によりますと太平洋のマーシャル諸島からICBMを模した標的を発射し、その後、ハワイ沖のイーグリス艦から発射したSM3ブロック2Aでの迎撃に成功しました。アメリカはICBMの開発を続ける北朝鮮をにらみ、ハワイやアメリカ本土の防衛能力の強化を進めていてミサイル防衛局のヒル局長は今回の迎撃実験の成功について『素晴らしい成果であり重要な節目だ』と強調しています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年11月19日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕 北村義浩（日本医科大学特任教授）</p>		
<p>検証テーマ：新型コロナ感染者、GoTo キャンペーン、広島三区補選、気候非常事態宣言、憲法審査会</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MISIA さん落馬し全治 6 週間の骨折 ・ 新型コロナ感染者 ・ GoTo キャンペーン ・ 香川県与島沖で修学旅行の小学生らを乗せた船が沈没するも全員救助 ・ 広島三区補選 ・ 企業の約九割が「忘・新年会をしない」 ・ 気候非常事態宣言 ・ 柳美里さんの「JR 上野駅公園口」が「全米図書賞」を受賞 ・ 中国レストランでガス爆発 ・ スポーツ報道 ・ 千葉県九十九里浜に大量のハマグリが打ち上げられているのが発見される ・ 憲法審査会 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ感染者：結論→特に問題なし <p>村瀬キャスターの「次です、今日も感染拡大が止まりません、東京では 1 日の感染者が初めて 500 人を超え、534 人に、大阪でも 338 人と 300 人を超えました、全国では 2386 人と 2 日連続で過去最多を更新する事態になっています。一部の専門家からは時短営業の養成など強い措置を求める声も上がっています。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレ「今日午後から行われた、東京都のモニタリング会議、出席した専門家は冒頭から強い危機感を示しました。」</p> <p>大曲貴夫（国立国際医療研究センター、医師）「先週は『拡大のはじまり』ということを申し上げましたが、今回は急速な感染拡大の局面を迎えたと判断しております。」</p> <p>ナレ「新規陽性者数は 1 週間平均で 326 人となり、2 週間前の時点から倍増、現在の増加ペースが今後 4 週間続いた場合、感染者数は 1 日あたりおよそ 1020 人になるとの試算も示され、東京都の感染状況の警戒レベルは最も深刻な感染が拡大している、に引き上げられました。専門家の懸念は少しずつ現実を帯びてきています。東京都の新規感染者は 534 人、過去最多であることはもちろん、全国で初めて 500 人台を突破しました。警戒レベルも最も深刻な赤となりました。」</p> <p>小池百合子（東京都知事）「9 月以来約 2 ヶ月ぶりの赤色でございます。」</p> <p>ナレ「40 代、50 代、70 代で過去最多となり、中高年層への感染が拡大しています。」</p> <p>「村瀬健介（報告）「東京では新規感染者の数が初めて 500 人台を超えまして連日過去最多を記録しているわけで</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

すが、街の人はどのように受け止めているのでしょうか。』

街の声 A 「今日 500 人超えたの？大変だなあ。」

街の声 B 「急に 500 ってなったり、あと日本全国だと 2000 人超えていたりとか、急にやっぱり人数が大幅に増えたので結構心配になりますね。」

ナレ 「一方、モニタリング会議では医療提供体制の警戒レベルについては上から二番目の体制強化が必要に据え置かれています。実際の医療現場では。」 "

"ナレ 「新型コロナ感染者を受け入れる東京医科歯科大学病院の重症病棟、ひとりの重症患者に対し複数の医師が治療にあたっています。今日現在、この重症病棟で受け入れている患者は 7 人、都内の重症者のおよそ 2 割を受け入れています。」

内田信一（東京医科歯科大学病院病院長） 「重症の病床が埋まってしまったっていうのは初めての経験なんですね、入院依頼が来る患者さんは何人書いて、1 日に 4～5 例お断りしたこともあるというふうに聞いていますので。」

ナレ 「疲労の蓄積によってメンタル面で不安を訴える医療スタッフもいて専門医がサポートする状況が続いています。」

精神科の医師 「状況が改善しないということがあるとね、いわゆる燃え尽きとかやってもやっても達成考えられない、と。」

ナレ 「長期化による医療従事者の疲弊、更に重症患者の増加が続けば、一般の手術や救急の受け入れを制限せざるを得ないという綱渡りの状況が続いています。」 "

"中川俊男（日本医師会会長） 「今後このまま感染が拡大し続ければ、強い政策を打ち出すハンマーを振りかざさなければいけません。」

ナレ 「昨日、日本医師会は感染拡大を防ぎ、医療崩壊を防ぐために今後の観戦状況の水によっては緊急事態宣言やロックダウンなどの強い措置が必要だとしました。都内にあるダンス教室、休業養成が終わった 6 月から集団での指導をやめ、密にならないよう予約制のマンツーマン指導に変更しました。」 "

"村瀬健介 「えと、踊っている途中もマスクをする。」

ダンス教室の生徒 「そうですね、ちょっと苦しくなることもあるけれど、マスクは必ず使用しています。」

ナレ 「検温、消毒だけでなく、窓を開放し、感染防止対策を施していますが、再び休業養成が出るようなことにあると。」

石原吉皓（石原ダンスクラブオーナー） 「休業になると多分存続も難しくなってしまうので、どこも多分それは同じだおと思ひあ m スから、経営という意味ではちょっと生徒さんが来られなくなってしまったので教室としては大変になってしまったところなんですけれども、感染拡大を抑えるには休んだほうがいんじゃないかという、まあその葛藤ですよ。」 "

"ナレ 「今年 3 月小池都知事は。」、

小池百合子（東京都知事） 「いわゆるロックダウンなど強力な措置を取らざるを得ない状況が出てくる可能性があります。」

ナレ 「ロックダウンを口にし第一波への危機感をあらわにしました。」

小池百合子 「感染爆発の重大局面と捉えていただきたいと存じます。」

ナレ「外出自粛や時短営業の要請など、感染拡大を封じ込めるための独自色が強い要請を打ち出してきました。今日、行われた緊急会見では。」

小池百合子「会食はぜひ、小人数で、できれば小一時間で、その程度で抑えていただき、小聲で楽しんでください。あわせてお料理は小皿に分けて、小まめにマスク換気消毒をしていただくということで五つの小を強く意識してください。」

ナレ「忘年会シーズンなどを見据え、会食時などの感染防止策を呼びかけ、外出自粛などの強い要請は示しませんでした。」

小池百合子「感染者数は増えておりますが、重症者数は増えていないという状況にあって、改めて皆様方への行動変容、これをお願いしたところでございます。」

"ナレ「都の専門家会議メンバーで杏林大学病院高度救急救命センター長の山口教授は個人の心がけだけでは限界があると指摘します。」

山口芳裕（杏林大学硬高度救急救命センター長）「一人ひとりが気をつけるという部分で減らせるというのはやっぱり限界があると思いますね、ですからある程度まで拡大をしていくということが見えたらですね、これは政府なり行政がですね、もっと強力で封じ込めるような何らかの手立てを打たないと都民の努力だけでは制御しきれないレベルにまでなってしまうんじゃないかなというふうに思います。」

"ナレ「新規感染者の数が最多を更新したのは東京だけではなく、大阪で 338 人。」

吉村洋文（大阪府知事）「重症者が増えているというのは非常に大きな大阪の特徴でもあり、課題でもある。」

ナレ「北海道で 266 人、愛知で 219 人、」

大村秀章（愛知県知事）「警戒領域から厳重警戒イエローゾーンからオレンジゾーンということに移行した、と。」

ナレ「さらに千葉、山口など 8 つの都道府県で過去最多に、全国の感染者も 2386 人とこれまでの 2201 に印を上回りこれも過去最多です、そんな中、夕方開かれた全国知事会、田村厚労大臣は新しいタイプのフェイスシールドをつけて挨拶に臨みました。」

田村憲久（厚労相）「飲食用のマスク、それからフェイスシールドもございます、今日、これ私やっているのはこうやって上げるとご飯がこう食べれる、ですぐにこうやって戻せると、これあの飲食用のフェイスシールドでございます。」

ナレ「田村大臣は会食での感染リスクが高いことを念頭に食事中でもマスクなどを着用することを呼びかけたのです。菅総理も今朝。」

菅義偉（首相）「最大限の警戒状況にある、このように認識しております。ぜひ皆さん、静かなマスク会食、これを是非お願いをしたい、この洋の思います、私も今日から徹底をしたいと思います、ありがとうございます。」

記者「総理、GoTo トラベルの見直しはしないのでしょうか。」

ナレ「このあとの公明党の山口代表との会食では早速実践したと言います。」

記者「食ベ辛くはなかったですか？」

山口那津男（公明党代表）「うん、まあそれはあの、些か面倒な面もありますけれども、そういうことをね、きちんと対応することによってコロナを乗り越える、こういう取り組みが大事だなということは改めて感じました。」

"ナレ「医療関係者から強い対策を求める声が上がる中、あくまで政府は人の移動や会食自体は制限せずに経済の

立て直しを重視する姿勢です、経済界からもこんな声が。」

三村明夫（日本商工会議所会頭）「こういう感染が拡大したとしても、GoTo キャンペーンは続けてくれ、しかし感染拡大対策はそれと同時に何らかの形で取ってくれ、今ここで非常に強いロックダウンとかなんとかになったら率直に言って非常に多くの失業、もしくは廃業がでざるを得ないということになりますので。」 "

"ナレ「一方、今夜開かれた厚労省の専門家組織の会合、既に北海道の一部地域では行動制限などの強い対策が求められるとし、東京大阪愛知でもその状態に近づきつつあるとの認識を示しました。」

脇田隆宇（国立感染症研究所所長）「このままの状況が続くと予定されている一般の手術、あるいは救急医療の受け入れなどを制限しなくてはいけないような状況。」

ナレ「政府の分科会に所属する医療関係者は政府と温度差があることを認めます。」

分科会の医療関係者「政府は経済優先の姿勢を崩さない。もはや国と対決してもいいと思っている、政府と意見が割れれば国民も耳を傾けてくれるだろう。」 "

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返し広げられた。

"小川彩佳「ここからは日本医科大学特任教授の北村義浩先生とお伝えしてまいります、どうぞよろしくお願ひ致します。」

北村義浩（日本医科大学特任教授）「こんばんは、よろしくおねがいします。」

小川彩佳「よろしくお願ひします。感染拡大止まりませぬけれどもまず VTR にもありました、こちら小池都知事が今日会見をしまして、このような呼びかけを行いました。感染予防には五つの小が大事だと、この呼びかけはまず北村先生どう評価されますか。」

北村義浩「そうですね、あの、そもそもですね、あの会食を控えてほしい、どうしてもいくなら家族にだけ、本当に小さいグループで行ってほしい、というふうにそういう要請をまずなさせてその上で、こういう五つの小というのをおっしゃればよかったと思うんですが、そういうことは一切おっしゃらずにですね、会食の場面で五つの小を守ってくれというのはたしかにあの、行ってしまったならこの小を守ったほうが良いと思うんですけど、じゃあ、あのこの5つを守れるか、守ってさあ今日の 500 人超のこの陽性者数が将来的にどのくらい減るのか非常に効果的なものなのかということですねちょっと疑問ですね。」

小川彩佳「今この段階で発信するものとしてはちょっと。」

北村義浩「ちょっと弱いなと思いますね。」

小川彩佳「十分ではないというところがあります。」

北村義浩「そうですね、今後やっぱりもう少し増えていく恐れがある中で、あのやはりちょっと小手先の芸だというような感じがしますね。」

小川彩佳「でも今非常に速いスピードで感染者が増えていますよね。今日までの感染者の推移こちらですけれども、2日連続で 2000 人を超えて過去最多を更新しているわけですがけれども、先生の予測ですと、これがどこまで増えてしまうというふうにお考えですか。」 "

"北村義浩「そうですね、あの、今後 2 週間位、1 2 月の第一週くらいまではこの推移でいきますのでちょっと私の手で申し訳ないんですけども、ここもっと上がって倍位に」

小川彩佳「あ、先生もう立ち上がらなきゃいけないくらい」

北村義浩「5000 人くらいまでは行ってしまいます、問題は今、まさに今皆さんが今対策を取ればここで高止

まりではないですけど、降りていくと思うんですけども、不十分な対策ですともっとこれが上がってしまう、落ちずに長引いてしまう、もっと場合によっては来年の春くらいまで3月くらいまでこの状態が続く、皆さんがよくご存知のようにインフルエンザが一ヶ月でおわるというより、インフルエンザは冬3ヶ月位続くなということをご存知としてご存知だと思うんですけども、コロナも同じように呼吸器感染症でございますから、感染が不十分ならもう一冬まるごとずっと全部感染が続くという非常に怖いことが起こります。」

小川彩佳「うーん、なんとかね、ブレーキを掛けていきたいところですけども、第二波よりもこの急激に増加しているのを見るとなぜこの感染拡大が止まらないのか、そこには感染が難しくなっている特徴があるということなんです。」

"北村義浩「はい、私は今日、あの皆さんに3つの対策が難しい原因と言いますか、現象をお知らせしたいと思運ですが、まあもう言ってしまいますと、上から全国一斉に、あの、7月の第二波ですと圧倒的東京問題などと言われた、まず首都圏から火の手が上がって、と言うんですけどね首都圏から感染が広がりが始まって地方に波及していった、ところが今回は全国、場合によっては北海道のように地方から燃え上がったという点がまず第三波と違います、あ、第三波の特徴ですね。それから、全世代、あの、皆さんご存知のように第二波のときは若者が中心だと言われていたんですが、現在は中年のかた、あるいはご高齢の方、全くだいたい均等に散らばっていると言ってもいいくらいですね。」

小川彩佳「確かに、こちらね、こちらが第二波ですけどの20代30代の方が7割を占めていたんですけども、現在はかなりばらつきがありますよね。」

北村義浩「そうですね、若者5、中年3、ご高齢の方2くらいまあ5、3、2と私はいつているんですけども、このくらいの割合でこれが首都圏だけではない全国的にどの都道府県に言ってもこの比率が守られています。それから経路の不明の方々、えっと東京などが典型的ですけどもだいたい50%ぐらいが経路が不明なんです、すなわち、あの、東京問題だ、あるいは若者の問題だと言ってたあの第二波のときは夜の街を徹底的にPCRをかけよう、若者たちを啓蒙しよう、そういう対策が取りやすかったんですけども、全国に、しかも全世代の方々にはしかもどうやって感染したかわからない、つまり誰でもどこでもいつでも感染する状況の中でさあ対策をしましょう、これは大変に難しい時期ですね、ですから今しっかり対策を取らなければいけない、だけどやれることは全部やらなければいけないということですね。」

このトピックについて当てられた時間は1020秒だった。

今回のゲストも医療関係者であった。今週の報道を見るに医療関係者の出演が多く、それ以外の立場からの意見の取り上げが疎かになっているような傾向が見られるが、こうした傾向が続くようであれば、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」、同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点に抵触してくる可能性があるだろう。

・GoTo キャンペーン：結論→他の放送日との比較が必要

小川キャスターの「大変なタイミングに来ているということになりますけれども、そんな中、きょうはGoTo イートキャンペーンで新たな動きがありました。」とのコメント、山本キャスターの「こちらは各地で既に利用が始まっているプレミアム付食事券です。東京都では今日からこの食事券を購入するための申し込みが始まりました。ただ感染が急拡大する中で不安も聞こえてきます。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTR

が取り上げられていた。

"ナレ「都内の飲食店をお得に利用できる東京の GoTo イートキャンペーン。その食事券の購入申込みが今日から始まりまし。これは例えば一万円払うと 12500 円分の食品を買えるというもの、25%お得になるのです。食事券は都内のキャンペーン加盟店で使えます。申込方法ははがきでの抽選かスマートフォン、実際にスマホで申し込もうとしてみると。」

遠藤怜子（報告）「画面にはサーバーが応答を停止しています、と表示されています。」

ナレ「スマホで申し込む場合、1日の受付枠に上限があります。ただ、こちらは抽選ではなく、先着順、アクセスが集中したのか、一時、申し込みサイトが繋がりにくくなりました。多くの人利用が見込まれる東京の GoTo イートキャンペーンですが、気になるのは都内の感染者が連日、過去最多を更新していることです。加藤官房長官は原則4人以下での利用など感染対策を求めた上で、」

加藤勝信（官房長官）「まさに感染の防止と、そして社会経済活動の両立、この GoTo イート事業で言えば、飲食需要の換気、これを両立して図っていきたい、と思います。」

ナレ「食事券の発行総額は500億円。飲食店側は期待と不安を抱えています。」

鈴木雄介（クイーン・オブ・チキンズ）「正直減っているのがすごく感じるので、またそこで盛り返してくれたら良いのかな、っていう。」

永友康秀（赤坂うのあん店長）「非常にありがたいなっとは思いますが、この状況がやっぱり改善されないうちになかなか思うように外食に足を向かうというふうにはならないと思うんですけれどね。」

"ナレ「消費者の中には食事券をいつ使うか迷っている人もいます。」

食事券を購入予定 A 「いや心配ですよ。GoTo イートね。」

食事券を購入予定 B 「まあそれは様子見ですよ。ただ年末はちょっと避けたいなと思っています。はい。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「過去最多を更新した東京で GoTo イートの紙食事券の申込みが今日スタートしたわけですが、感染対策をまさに強化しなければならないこのタイミングで今日、こうした動きが出ている、これはどう評価されますか。」

北村義浩「そうですね、まあ先程も申しましたように感染症を抑えたいという私の医療の立場からするとですね、できれば、あの時期をもう少し後にずらせていただけたら良いなと、あるいは販売は、申込みはともかくとして使用の時期をちょっと感染の具合が落ち着くのを待ってからあの、開始しましょうというふうにしていただけたらありがたいと思っています。」

小川彩佳「打てる手を全て打っていかなければならないタイミングとさきほど先生もおっしゃっていましたが、そうした中洲が総理が今朝、このような発言をしました。『最大限の警戒状況にある』と『静かなマスク会食を』と。一方専門家は『政府は経済優先、私は緊急事態宣言が必要と考えている』とこう温度差を感じますけれども、これ、どうご覧になりますか。」

北村義浩「そうですね、私はですね、やっぱり医師の立場ですからこちら下の方の立場ですね、あの、どうしても皆さんテレビのインタビューなどでも仰っていましたように、やっぱり心理的に流行が、感染が拡大している中で、やはり落ち着いて仲良く楽しいお食事をという気になりたいんですよね、私としてはそういう経済を回すという意味でもですね、ある程度しっかり流行を抑えて、例えば今頑張れば12月の初旬にピークを迎

えてその後割と急速にピークアウトして穏やかな楽しい年末年始を迎えることが出来て、私何度も言っていますが1月2月の大学生の受験、あるいは私の大学の医師国家試験などの一生懸命頑張っている学生さんたちにすごくいい朗報を伝えられると思うんですね。だから、もうとにかく年内に収めたい、だから少し何らかみんなで知恵を絞りたいなと思っています。」

小川彩佳「うーん、とにかく年内っていう危機感が専門家だったり医療現場にはあるわけですけども、星さんこの温度差が生じてしまうのはどこが。」

星浩「政府のいま状況を解説しますとね、おそらくこの静かなマスク会食でこの感染状況が抑えられると思っ
ていないんでしょうが、2つあると思うんですね、一つはね、重症化が比較的抑えられているので、ここはGoTo
キャンペーンやっても大丈夫じゃないかというのがひとつなんですけれども、これはちょっと長い目で見るとち
よっと甘い見通しのような気がしますね。もう一つはですねやっぱり年末の資金繰りを控えてここでその経済の
ブレーキを掛けると、かなりそのダメージが大きいう計算があるんですね。しかしこれもですね、これだけ
感染が拡大してくるとやはり場所を限定してGoToキャンペーンを見直すと、一時中断するというようなこと
をして、そこには手厚く支援していくというようなやり方に切り替えていかないと、全体の感染拡大は抑え込め
ないような気がしますね。」

小川彩佳「難しいところですけども、やはりね、経済も大事ということで今やっと一息つけたという方も多く
いらっしゃると思うんですが。」

北村義浩「そうですね、だからあのまあ私も抑える方だと会食は控えたらどうかと言いますけれども、まあ色
んな理由でどうしてもあの会食に行かなければいけない方々は先程の小池都知事の五つの小をお守りになる、ある
いは田村厚労大臣が使っていたあの、新しいタイプの、ただあれはなんか上に上げるともう戻すのを忘れてその
まま会食してしまいそうになりますよね、一つ私の提案言ってもよろしいですか。」

小川彩佳「はい、お願い致します。」

北村義浩「私、将棋をやるんですけども。こういう扇子をいつも持ち歩いているんですけども、これ羽生さ
んの扇子ですけど、もう机の上においておいて、どうしても会食に行った場合、喋らなきゃいけない場合、ぱっ
とこう口のところに当てていただいて、字のある方は必ず外で、字のない無地は口なんて決めていただいて、」

小川彩佳「なるほど表裏ちゃんと分かるように。」

北村義浩「必ず唾液がつくであろう部分は一緒にしていただいて、あとは畳んで持ち帰るとか、あるいはまあア
ルコールで少し拭くとか、そうして何らか皆さんとにかく対策を、対策を取らないで会食に行くってことだけは
やめていただきたいなと思いますね。」

小川彩佳「有効な手を、ここにあう手を考えていただいて。」

北村義浩「そうですね、私はこのモバイルシールドをおすすめしたいなと思いますね。」

小川彩佳「扇子シールドですね、北村先生にお話をお伺いしました、どうもありがとうございました。」

このトピックについて当てられた時間は456秒だった。

今回のゲストも医療関係者であった。今週の報道を見るに医療関係者の出演が多く、それ以外の立場からの意
見の取り上げが疎かになっているような傾向が見られるが、こうした傾向が続くようであれば、放送法第四条一
項二号「政治的に公平であること」、同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から
論点を明らかにすること」という点に抵触してくる可能性があるだろう。

- ・広島三区補選：結論→特に問題なし

広島の補選について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"斉藤鉄夫（公明党副代表）「政治不信に対して、再び信頼を取り戻す。」

ナレ「公明党は次の衆議院選挙で斉藤鉄夫副代表を擁立することを決めました。広島三区は公選法違反の罪に問われている河井克行元法務大臣の選挙区です。今回、自民党が別の候補者の公募を始める中で、公明党は初めて、独自候補の擁立に踏み切りました。異例の決定の背景にあるのは河井夫妻の事件をめぐる自民党への強い反発です、支持母体の創価学会からは。」

広島創価学会幹部「もう自民党には協力できないという声や反発が地元では根強い。」

ナレ「全国の自民公明の選挙協力が亀裂を生みかねない事態に発展しています。なお、広島三区には立憲民主党からライアン真由美氏も立候補を表明しています。」 "

このトピックについて当てられた時間は 70 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

- ・気候非常事態宣言：結論→特に問題なし

ナレーションによって「地球温暖化対策に取り組む決意を示すため『気候非常事態宣言』決議が衆議院の本会議で採択されました。自民党や立憲民主党など超党派の議員連盟がまとめたもので、1日も早い脱炭素社会の実現に向けて国を上げて実践していくことを決意するとしています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・憲法審査会：結論→特に問題なし

ナレーションによって「今日、今国会で初めてとなる衆議院の憲法審査会が開かれました。国民投票法の改正案めぐり、各党による自由討議が行われましたが与野党の意見の隔たりは大きく来月五日までの会期内での法案成立は見通せない状況となっています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・広島三区補選について

広島県といえば自民党宏池会（岸田派）の牙城であり、河井克行前法務大臣は広島県選出にしては珍しく非宏池会の議員であった。そんな河井克行氏が広島で非宏池会の政治家としてやっていくにあたっては多くの苦労があったのだろうと推察されるが、その補選で自民党から擁立される候補は宏池会系列になるのか、それとも非宏池会系列になるのか、ということについては二階幹事長が宏池会の牙城の切り崩しに熱心であるだけに、非常に

気になるところである。

- ・ 憲法審査会

安倍政権時代の野党は「安倍政権のもとでの憲法改正はさせない」と息巻いていたが、その安倍政権は退陣し菅政権となった今、どういう憲法論議を展開するのか、非常に興味深いところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年11月20日
出演者：小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕 前田裕二（「SHOWROOM 社長」）		
検証テーマ：コロナ禍と GoTo、習近平と TPP、縦割 110 番停止へ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と GoTo ・コロナ禍とロボットカフェ ・前田裕二が見る「ニーズの変化」 ・コロナを有効と謳ったうがい液の違法販売で歯科医師を逮捕 ・習近平と TPP ・スポーツ報道 ・縦割 110 番停止へ ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と GoTo：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「さて、最初にお伝えするニュースですが、新型コロナウイルスの感染者が今日も過去最多を更新しました、全国で 2424 人となりました。2000 人を超えるのはこれで 3 日連続ということになります。明日から三連休となりますが、今日開かれた政府の分科会は GoTo キャンペーンの運用を見直すよう提言しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>"村瀬健介（報告）「三連休になりますよね、どういうふうにご過ごされる予定ですか。」</p> <p>大学生 A「自宅で過ごします。」</p> <p>自営業 B「すごいコロナが広がっているという話があったので、あんまり出かけないほうがいいのかな。」</p> <p>ナレ「せっかくの三連休ですが、自宅でおとなしく過ごすという方も多いようです。今日の全国の感染者数は 2424 人、昨日二続き、過去最多を更新しました。地域別で見ると北海道や大阪、山口などが過去最多、東京は 522 人で 2 日連続 500 人を超えています。」"</p> <p>"遠藤怜子（報告）「現在は 60 人以上が並んでいます。」</p> <p>ナレ「都内では今日から購入金額の 25%が上乘せされる GoTo イート食事券の販売がスタート。各地の販売所で行列ができていて、多くの利用者が見込まれています。」</p> <p>食事券を購入した人 C「今、増えている状況でこれはどうなのかなとは思ったんですけども、まあ期限は 3 月まであるんで、」"</p> <p>"ナレ「ただ、食事券を巡っては飲食店の需要喚起と感染防止の両立が課題となっています。神奈川県黒岩知事は新規の販売を今月 25 日から一時中断すると発表。感染者が急増している都内ではこんな取り組みを始めている飲食店もあります。」</p> <p>村瀬健介「こちらのお店では感染対策としてお客さんにこのようにフェイスシールドを販売しています。一枚 100 円だということですので私も注文してみたいと思います。ということ」</p>		

店員「そう、そんな感じ、そうそう、そうです。」

ナレ「フェイスシールドの使い方は飲食をするときはあげ、しゃべるときは下げるといもの、使い心地はという。」

村瀬健介「話を聞くだけだとすごく面倒くさいような感じがしますが、すごく簡単にこうやって上げたり下げたりすることが出来ますので、それほど煩雑な感じはせずに、実際にこうやって飲み会をやってもいいかなという乾燥ですね。」

ナレ「このフェイスシールド、着用は義務ではありませんが、1日10枚以上売れることもあるそうです。」

購入した客C「コロナが怖いので。」

ナレ「フェイスシールドの原価は220円ですが、販売価格は100円、客に少しでも安心して食事を楽しんでほしいという思いからであります。」

上原達也（やきとん酒場新橋とら八店長）「みんなと協議したら、フェイスシールドが一番いいんじゃないか、マスクじゃなくて、こうしていただくと、そうすると普通に会話したり出来ますので、それが一番お客さんが楽しんで頂けるんじゃないかな。」

"ナレ「飲食業同様、苦境が続いている観光業、箱根にあるこちらの温泉宿ではGoToトラベルによって予約状況が例年の9割まで持ち直したと言います。」

村上桂（箱根湯本温泉かっぱ天国）「この土日に関してで言いますと、その感染者が増えたからキャンセルが増えたっていうのはそんなに見受けられなかったかな、と思います。」

ナレ「一方、こんな心配も。」

村上桂「一回、感染者をゼロにする方法を考えてほしいなとは思いますが、そうすると今度は営業と考えると今度厳しくなってくるので、そのへんがちょっと難しいところですね矛盾しちゃうというか。」

"ナレ「GoToトラベルについて赤羽国土交通大臣は今朝。」

赤羽一嘉（国交相）「引き続き各都道府県ともしっかりと連携を取りながら適切に事業を運営・運用して参りたい。」

ナレ「こう話し、事業の継続を改めて明言。対象地域の一部除外などについては現時点では都道府県から要請はない、として従来どおりの運用を続ける考えを示しました。また、菅総理も。」

菅義偉（首相）「新型コロナウイルスでダメージを受けた旅行や飲食などを支援をし、感染対策と経済の回復を両立をさせていくのが基本的な考え方です。」

"ナレ「一方、東京都医師会の尾崎会長は今日緊急会見を開き、GoToトラベルについて一時中断を提案しました。」

尾崎治夫（東京都医師会会長）「今の状態を放っておくと、やはり医療崩壊に必ずつながると私は思っています。ぜひここは国あるいは都からですね、やはり一時ちょっとストップしてみようということですね、提案いただいて、本当に我々の医療体制、崩壊を守るということを含めてですね、検討をしていただきたいと。」

ナレ「また、会食の仕方についてこう指摘しました。」

尾崎治夫「菅首相が仰るように、静かな会食、これはちょっと無理だと思います。飲みに行くなら10日に一度を提案したいと思います。」

"ナレ「そして今夜行われた政府のコロナ対策分科会、会議の内容について西村大臣は会見で。」

西村康稔（経済再生相）「足元の感染状況を見て、踏まえてですね、これまでよりも強い対策を求める提言とな

っていると思います。GoTo キャンペーンについては運用の見直しの検討ということが提言されております。」
ナレ「政府の分科会は都道府県の感染拡大状況を4つのステージに分類、会議では専門家が現在の感染状況について『ステージ3相当の強い対策が必要な状況に達したと考えられる地域も存在する』と指摘しました。感染拡大の地域は今後三週間程度 GoTo トラベルからの一部地域の除外も含め運用見直しも提言しました。また、提言には GoTo イートのプレミアム付食事券の新規発行の一時停止やオンライン飲食予約サイトで付与されたポイントの利用を控えることを利用者に求めることなども盛り込まれました。更に地域の感染状況に応じ、三週間程度は酒を提供する飲食店に対し営業時間の短縮、または休業養成を行ってほしいとの提言もされました。このあと会見した分科会の尾身会長は。」

尾身茂（分科会会長）「例えば、北海道の札幌なんかの地域というのは比較的もうステージ3の入っているんじゃないかと我々専門家はあの判断しています。東京や大阪等はステージ3に近づきあるというような判断です。ただこれは我々の判断ですから最終的には知事たちがお決めになるということだと思います。」 "

ナレ「今回の提言を踏まえて政府は明日、対策本部にて今後の対応を検討するとしています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"村瀬健介「ここではまず今日の各都道府県の感染者数を見ていきます。今日はですね北海道で304人と初めて300人台を超えました。また、大阪でも370人と過去最多を更新するなど全国で5つの道府県で過去最多を記録する事態になっているんです。また全国の感染者数が2000人を超えるのはこれで3日連続となります。」

小川彩佳「非常に速いスピードで全国で感染が拡大している印象がありますけれども、前田さんは今この現状どのようにお感じですか。」 "

"前田裕二（SHOWROOM 社長）「そうですね、まず、シンプルにあの何が想定外だったのか、これを知るのが僕すごく大事だと思っていて、当然ながらその経済刺激策等、それを取っていくと感染者数は増えていくと、当然ながら予見できていることですよ。」

小川彩佳「そうですね、まあ経済が回れば人の流れがこう生まれれば、感染も広がっていく。」

前田裕二「まさに、なのでこの4、500人くらいで推移したところが2000人になっているこの状況は第三波が来た時に、起こり得ていたという、起こり得るといふように想定されていたのか、想定していた水準より上なのか、そこがすごく結構大事だと思っていて、なぜ重要かという、多分これから僕らが未来を見据えた時にまた経済施策を打っていくと数字が増えていく、感染者数が増えているという議論が生まれて、それによってまたこういうふうにあのディスカッションが生まれてしまう、止めるべきだ、進めるべきだ、それによって僕が一番懸念しているのが現場の、飲食業の現場の方々や、それこそ観光業の現場の方々もせっかくなにかこう順応してきたんだけど、また違うことをやらないといけなくて、体力もさることながら、心が疲弊してしまって、折れてしまうんじゃないかってことをすごく恐れています。」

小川彩佳「感染者が増えてからいざ増えてからオロオロしているような印象受けますよね。」

前田裕二「そうなんです、これくらい増えるというのはある種、少しドライに聞こえてしまうかもしれないんですけども、事前に予見して、予測値を出しておくということも、数字が出てから狼狽えるということをしなないためにもすごい重要なんじゃないかなと思います。」 "

"小川彩佳「そうした中でいま商店となっているのが GoTo キャンペーンを一旦中止するべきという村瀬さん声ですよ。」

村瀬健介「そうですね、今夜開かれた分科会では感染が拡大している地域等ではキャンペーンの運用を見直すべきだという提言が出されたんですけども。政府側はですね、経済を回復させるためとして GoTo キャンペーンを継続する方針なんです。」

小川彩佳「医療の逼迫はなんとしても避けなければならない、ただ経済はなんとしても回していかなければならない、とこのバランスが非常に難しいところですけども。前田さんいかがですか。」

"前田裕二「難しいですよ、ただ僕はすごくバランスを取る上で重要だと思っているのが、あの、えっとあまりこう意味のない、効力のない感染対策をして経済を止めてしまってもしょうがないと思うんですね、ということは今こう感染者数がすごい増えている要因の内、果たして GoTo トラベルや GoTo イートの結果起きている感染はだいたいどれくらいなのか、他の要因でもう少し具体的に見ていくと他にも僕らが注意すべきことってあるんじゃないか、っていうのをより具体的につぶさに見ていくということがすごく重要だと思っています、その具体的な要因分析とセットでないとなかなかあの、施策は語れないだろう、と思いますよね。」

小川彩佳「その中で今ピンポイントでやっていこうっていうのがまあ会食の際の感染対策なのかもしれませんが、フェイスマスクね村瀬さん体験されていましたが。」

"村瀬健介「はい取材でやらせてもらいましたけれども、カメラの前で一人で演る限りは大丈夫なんですけれども、実際お客さんが使っているのを見ると、なかなか煩雑で厳しいかなという気もしましたが、前田さんなんか会食も多いかと思えますけれどもいかがですか。個人的」

前田裕二「確かに自分から提案して、今日は僕はフェイスマスクのモードで行きますんで、というのは確かに手を上げて言いにくい空気はそこにあるなとは思ってしまいますね、なんですけれども、世の中全体のあるいはお店側の要請でそういう事が起これば、最初はお店に入るときとか、どこか店舗に入る時に必ず検温するって言って、最初はやっぱり違和感があったはずなんですけれども、今は逆に検温がないことが不思議になっているので店舗側の対策として一元的にやる方が効力が出るんじゃないかなというふうに思います。」

小川彩佳「なるほど、そういった声かけがね、なされていくのかどうか。」

また、他のトピックを挟んだ後に番組のクロージングで小川キャスターによって「さてここで速報です、政府分科会の提言を受けて政府関係者は今夜 GoTo 事業の見直しに着手する考えを示しました。具体的には自主的にキャンセルした際の保障などが検討されています。明日の対策本部で菅総理が一定の方向性を示す見通しです、ええ、政府分科会の提言を受けて、政府関係者は今夜、GoTo 事業の見直しに着手する考えを示しました、速報でお伝えしました。」との速報が伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 827 秒だった。

今回は前田裕二氏という「SHOWROOM」の社長がゲストだった。医療関係者が連続してゲスト出演していたので、バランスを取ろうということなのだろうか。いずれにしても、偏りなく様々な分野の識者をスタジオに招待することが結果として放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という観点からも重要であり、引き続き注視が必要なテーマであると考えられる。

・習近平と TPP：結論→特に問題なし

ナレーションによって「今夜 APEC 首脳会議がオンラインで開かれましたが、中国国営の新華社通信によりますと習近平国家主席は TPP について参加を積極的に検討すると表明しました。日米を軸とした対中包囲網の側面があった TPP ですが、アメリカが離脱した中、中国は自由貿易に開放的な姿勢を打ち出すことでアメリカに対抗する狙いがあると見られます。」とのことが伝えられました。

このトピックについて当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られませんでした。

・縦割 110 番停止へ：結論→特に問題なし

小川キャスターの「縦割 110 番が限界のようです。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"河野太郎（行革相）「要望をご準備頂いている方は来週いっぱいには受付をしております。」

ナレ「河野行革担当大臣は規制改革などの意見を募る縦割 110 番の受付を来週いっぱい一旦停止すると発表しました。縦割 110 番では 9 月の立ち上げからおよそ 7200 件の投稿が寄せられていました。河野氏是对応する省庁の業務が困難になる恐れがあることなどを受付停止の理由に上げています。」"

このトピックについて当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・コロナ禍と GoTo

流石に前田裕二氏は自身が「SHOWROOM」を経営しており、また「SHOWROOM」のユーザーにはコロナによって痛手を被っていると考えられる人も少なくないことからか、これまでのゲストの医療関係者と比べて、経済に軸足をおいた議論を展開しているように見受けられた。と同時に、やはり立場によって見解も随分と異なるという可能性が見えるものであり、やはりコロナのような様々な要素を考えるべき問題についてはスタジオに招待するゲストも、様々な専門や立場を招待する必要があると再認識させられる番組構成であった。